

31.長崎外国語大学 ティーチング・ポートフォリオに関する実施要項

(2020 (令和2) 年 10 月 1 日制定)

「長崎外大ビジョン21 (中長期計画)」において「戦略21. 教員・職員の職務遂行能力の開発と評価」を実現するためのプロジェクトとしてアカデミック・ポートフォリオの導入が掲げられている。アカデミック・ポートフォリオとは、教員として教育・研究・サービスを振り返り、自らのビジョン (理念) と ゴール (目標) を明確化し、職務上の業績を記録したものである。アカデミック・ポートフォリオ導入の一環としてとして2020 (令和2) 年度から教育の質改善等のための「ティーチング・ポートフォリオ」を導入する。

(定義)

1. ティーチング・ポートフォリオ (以下、「TP」という。) とは、「自らの教育活動について振り返り、自らの言葉で記し、多様な根拠資料によってこれらの記述を裏づけた教育業績についての厳選された記録」と定義される。(栗田佳代子、大学評価・学位授与機構リーフレット「ティーチング・ポートフォリオって何だろう」より抜粋。)

(目的・活用)

2. TP 導入の目的及び活用方法は、以下の通りとする。
 - (1) 自分の教育活動について自己省察することによって、授業や教育活動の質改善に資する。また、教員の教育改善を支援する仕組みとする。
 - (2) 教育活動に関する知識や経験等の教育リソースを教員間で共有し、また継承する。
 - (3) TP に基づいた教育情報をステークホルダーへ発信する。
 - (4) 教員の教育業績を正当に評価するための根拠資料として TP を活用する。

(TP の構成)

3. TP は、A4 判サイズで 8~10 ページの本文編とそれを裏付ける根拠資料からなり、本文編は以下の主要 5 項目や教育改善への取組などを含むものとする。
 - (1) 教育の責任 (何をしているのか? 担当科目は?)
 - (2) 教育の理念 (なぜしているのか? 何を信じて教育をしているのか? 学生にどうなって欲しいのか?)
 - (3) 教育の方法 (理念や目的を達成するために どのように実践しているのか?)
 - (4) 教育の成果 (教育方法を行った結果、どう だったか?)
 - (5) 今後の目標 (以上を踏まえて、今後どうするのか?)

(実施体制)

4. TP の実施体制は、以下の通りとする。
 - (1) TP の実施・活用方針は、大学協議会の議を経て、学長が決定する。
 - (2) TP の運営は、大学協議会の方針に基づき、教育支援部長及び FD 委員会が担当し、庶務を教育支援課が行う。

(試行期間)

5. TP 導入に当たって、2020（令和2）年度から2年間の試行期間を設ける。

(1) 試行期間中は、TP の作成を求める教員は、専任教員のうち大学協議会構成員、教育支援委員会委員、昇任のための資格審査申請者及び希望者、並びに学長が指名する教員とする。試行期間終了後は、全専任教員に TP の作成を求める。

(2) 試行期間中は、FD 委員会は TP 作成を支援するための FD 講習会、ワークショップを重点的に実施する。

(審議)

6. TP の実施及び活用に関して必要な事項は、大学協議会で審議する。

附 則

この要項は、2020（令和2）年10月1日から施行する。